

福島県立南会津高等学校図書委員会



特集

- ① 先生方が選ぶ
おすすめの本
- ② 2学年図書委員が選ぶ
おすすめの本

図書館報



『鷹埋山』

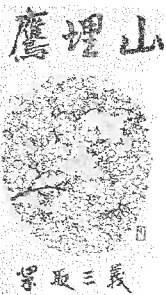
校長 橋本 忠広

本校校歌を作曲していただいた古関裕而さんが、今年の朝ドラ「エール」で話題になりましたが、校歌の作詞をしていたいただいた梁取三義さんも全国的に活躍した小説家です。南会津出身で「伊南川のほとり」などの作品を残しています。今回は『鷹埋山』（たかうずみやま）という小説について紹介します。

鷹埋山は只見町明和から少し奥に入ったところにあります。眺望が美しく、梁取三義さんも幼い頃からよく登っていたそうです。梁取さんの先祖は、この地にあった梁取城の城主で、天正十八年に伊達政宗の攻略にあいました。「鷹埋山」という名称は、その戦いで梁取一門の佐久間備中が襲撃されたときに、主人を救うために代わりに斬られた鷹の亡骸を埋めたことに由来するそうです。

さて、小説『鷹埋山』は幕末の時代に生きる三人の若者を描いた青春小説です。「血風駒止峠」という章には、田島代官所との戦いで胸湧き躍る場面があります。昔から南会津地方は、伊南の河原田、伊北の山内、田島の長沼という豪族の歴史があり、「この小説に描かれたことも実際にあったかも」と思いながら楽しく読みました。今年は「鬼滅の刃」が大きな話題になりましたが、『鷹埋山』にも炭焼き小屋の息子が活躍します。本校に所蔵されていますので、地域理解のために一読してはいかがでしょうか。

鷹埋山
梁取三義



目次

巻頭言「鷹埋山」

校長 橋本 忠広 …… 1

特集①

先生方がおすすめの本 …… 2、3

特集②

2学年図書委員が選ぶ
おすすめの本 …… 4

図書館の利用方法 …… 5

図書館マップ …… 6

ビブリオバトル報告 …… 7

福島県読書感想文

コンクール結果

編集後記 …… 8